

## 《施工要領》

レジンA GEタイプ（エポキシアクリレート樹脂）

（接着系アンカー／注入方式／カートリッジ型）

## 1. はじめに

本製品は接着系アンカー 注入方式のレジジンA GEタイプ(カートリッジ型)です。

穿孔した孔に樹脂を充填し、アンカー筋を挿入することで、穿孔した孔とアンカー筋との隙間に樹脂が充填され、硬化することで物理的に固着します。

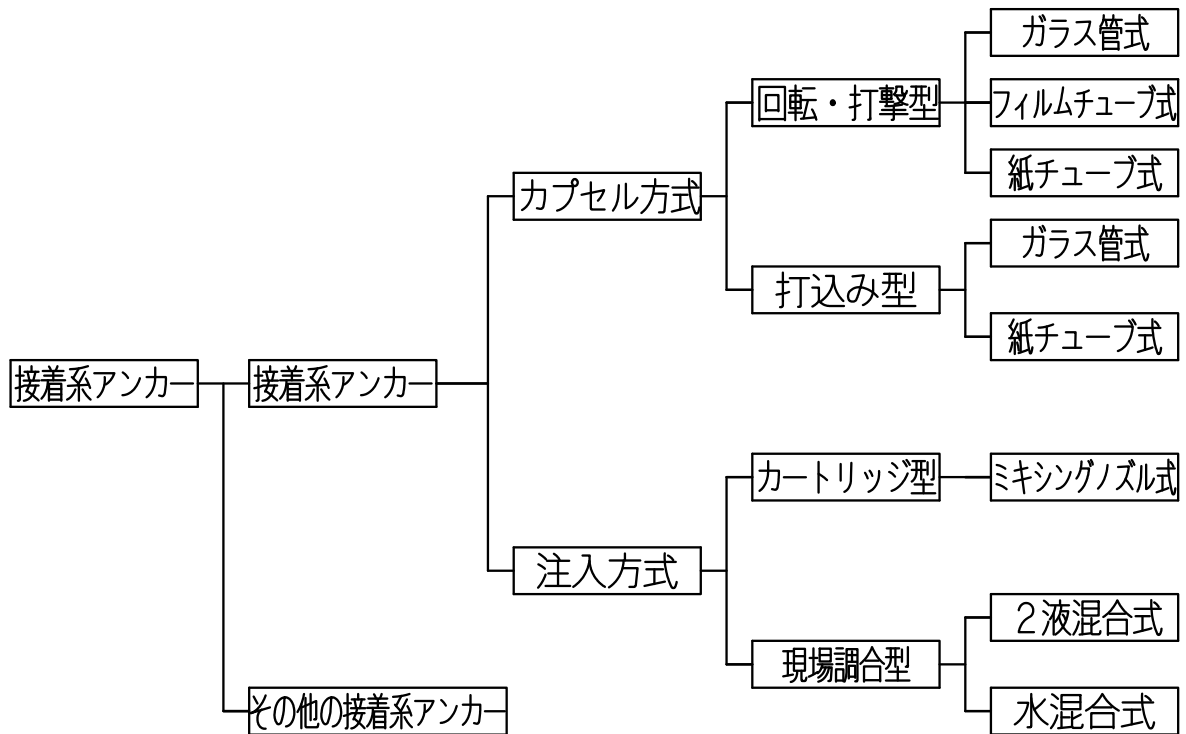


図 1. 接着系アンカーの系統図

本「施工要領書」はユニカ接着系アンカーのご使用に際し、アンカー施工の安全性と確実性を確保する事を目的としています。

ユニカ接着系アンカーの施工に際しましては、本施工要領書を熟読賜りますようお願い申し上げます。

## **2. 材料**

### **2. 1 GE-165/GE-410/GE-825**

「ユニカ低臭無スチレンエポキシアクリレート樹脂」は、高性能で速乾性の接着系アンカーで、メタクリレートモノマーのエポキシアクリレート樹脂を採用しています。

このハイブリット樹脂の使用で経済的・強力かつ耐薬品性の高い定着を得ることができます。

### **2. 2 特長**

- ① 不燃。 ② 臭いが少ない。 ③ 優れた耐薬品製。
- ④ へりあき寸法が小さい場所にも適する。

### 3. 施工

#### 3. 1 施工仕様

下表に示す仕様にて施工を行って下さい。

表 1. レジンA GEタイプ (カートリッジ型) 施工仕様

使用ボルト /異形鉄筋	施工仕様			参考締付け トルク [Nm]	必要樹脂量 [ml]
	下穴径 [mm]	下穴深さ [mm]	埋込み長さ [mm]		
M8	10.0	80	80	10	4
M10	12.0	90	90	20	6
D10	13.0			-	7
M12	14.0	110	110	40	9
D13	15.0			-	7
M16	18.0	130	130	80	15
D16	20.0			-	17
M20	24.0	170	170	120	42
D19	25.0			-	42
M22	25.0	190	190	140	43
D22	28.0			-	52
M24	28.0	210	210	160	66
D25	32.0			-	75
M30	35.0	280	280	200	135
D29	38.0			-	165

表 2. レジンA GEタイプ プラスチックスリーブ施工仕様

呼び径	M8	M10	M12
下穴径[mm]	16	16	20
適合スリーブ	RA-P1685	RA-P1685	RA-P2085
必要樹脂量[ml]	30	30	40

表 3. レジンA GEタイプ硬化時間

気温 (°C)	-5	5	15	25	35
可使時間 (分)	40	20	9	5	3
硬化時間 (分)	180	90	60	30	20

※硬化時間内はアンカー筋を動かさないでください。

※硬化時間は最大強度の 80%程度の強度を発揮する時間です。

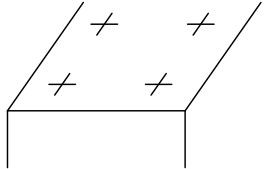

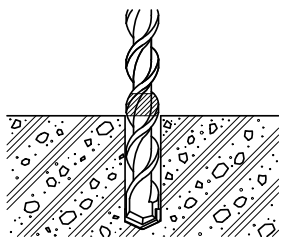
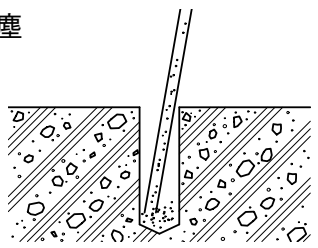
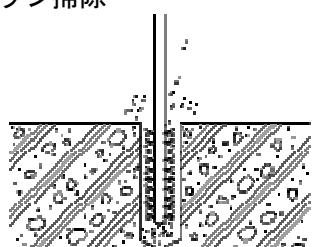
※アンカー筋に丸棒は使用できません。全ねじボルトや異形棒鋼のように表面に凹凸があるものを使用してください。

### 3. 2母材

ユニカ接着系アンカーは普通コンクリート、軽量コンクリート、石材、岩盤、レンガ、ALC、中空母材等への施工が可能です。

### 3. 3施工手順

表4. レジンA GEタイプ（カートリッジ型）施工手順

施工手順		注意事項
①	墨出し 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に分かりやすくマークしてください。</li> <li>・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。</li> </ul>
②	ドリルビットへのマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前述の施工仕様にあった径のドリルビットを選定してください。</li> <li>・ ドリルビットの肩から穿孔深さを測り、ビニールテープ等でマークしてください。</li> </ul>
③	母材へ下孔の穿孔 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墨出しを行った位置の母材へ直接穿孔を行ってください。</li> <li>・ 穿孔は施工面に直角になるように行ってください。</li> <li>* ダイヤコア等で穿孔された場合、孔壁面の凹凸が少なくなり、強度が低下する可能性があります。よって、孔壁面をブラシ工具等の面粗し工具で粗して頂き、凹凸を増やしてからご使用ください。</li> </ul>
④	下孔の清掃 ・ 集塵  ・ ブラシ掃除 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 集塵機、ブロワー等で下孔の切粉を除去してください。</li> <li>2) ブラシ等で、下穴の壁面についている切粉を取り除いてください。</li> <li>3) 再度、集塵機、ブロワー等で下孔の切粉を除去してください。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 上記サイクルを2・3回繰り返してください。</li> <li>* 孔に切粉が残りますと不具合が発生する可能性がありますので、確実に除去してください。</li> </ul>

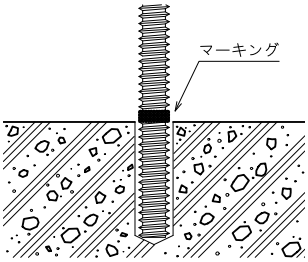
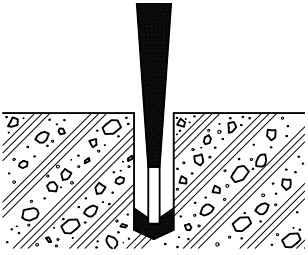
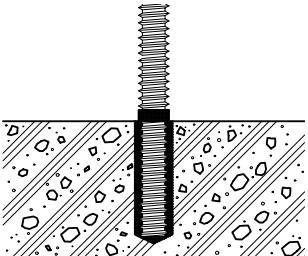
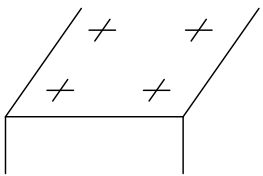
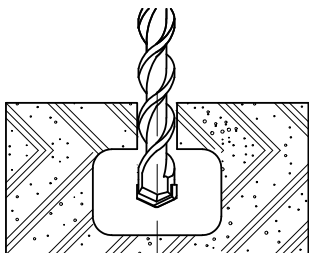
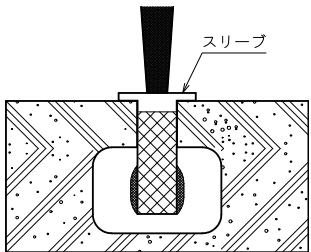
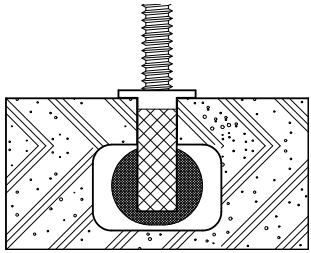
⑤	<p>アンカー筋へのマーキング</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掃除し終わった孔に、使用するアンカー筋を差し込み、埋め込み深さをビニールテープ等でマーキングしてください。</li> </ul>
⑥	<p>下孔へ樹脂の注入</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専用のインジェクションガンを使用してください。</li> <li>・ 最初の使用や、ノズル交換時には、必ず最初の樹脂約20～30cc（トリガー2～3回分）を捨ててください。 （樹脂が混合され灰色になります）</li> <li>・ ノズルを孔底まで差し込んでから樹脂の注入を開始してください。</li> </ul> <p>*ノズル孔底まで届かない場合は、ノズル先端にチューブ等を取付け、ノズルを孔底に当ててから注入してください。</p>
⑦	<p>アンカー筋の埋め込み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンカー筋を手でゆっくり回しながら、孔底まで挿入してください。</li> <li>・ 孔底まで挿入後、反対方向に2回転回してください。</li> </ul>
⑧	<p>硬化養生・施工完了</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンカー筋埋め込み後、前述の施工仕様の硬化時間内はアンカー筋を動かさないでください。</li> <li>・ 硬化完了で施工完了となります。</li> </ul>

表5. レジンA GEタイプ (カートリッジ型)

プラスチックスリーブ施工手順

	施工手順	注意事項
①	<p>墨出し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に分かりやすくマークしてください。</li> <li>・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。</li> </ul>
②	<p>母材へ下孔の穿孔</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墨出しを行った位置の母材へ直接穿孔を行ってください。</li> <li>・ 穿孔は施工面に直角になるように行ってください。</li> </ul>
③	<p>プラスチックスリーブ挿入 樹脂の注入</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スリーブを穿孔した孔に挿入してください。</li> <li>・ 最初の使用や、ノズル交換時には、必ず最初の樹脂約20～30cc (トリガー2～3回分) を捨ててください。 (樹脂が混合され灰色になります)</li> <li>・ ノズルをスリーブ底まで差し込んでから樹脂の注入を開始してください。</li> </ul>
④	<p>アンカー筋の挿入</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 付属のキャップをアンカー筋の先端に装着し、アンカー筋を手でゆっくり回しながら、スリーブ底まで挿入してください。</li> <li>・ スリーブ底まで挿入後、反対方向に2回転してください。</li> </ul>
⑤	<p>硬化養生・施工完了</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンカー筋埋め込み後、前述の施工仕様の硬化時間内はアンカー筋を動かさないでください。</li> <li>・ 硬化完了で施工完了となります。</li> </ul>

## 4. 保管および取り扱い上の注意事項

### 4. 1 保管・輸送上の注意事項

- ① 直射日光を避け、風通しの良い、温度のあまり上がらない場所に保管してください。  
(40℃以上には絶対にしないでください。保管場所は5℃～25℃の状態を厳守してください)
- ② 火気や高温物に近づけないでください。
- ③ 使用途中のカートリッジを保管する際は、ミキシングノズルを着けたまま保管し、再度使用するには新しいミキシングノズルを装着してご使用下さい。
- ④ カートリッジの標準的な保存条件での使用可能期間は使用期限までです。

### 4. 2 施工上の注意事項

施工時、施工後の安全性を確保するため、以下の項目をご確認ください。

- ① 下穴の径、下穴深さは必ず仕様通りに行ってください。
- ② 施工時は必ず安全メガネ、ヘルメットなど保護具を着用してください。
- ③ 孔内掃除は、必ずメタルブラシとブロワーを併用して十分に行ってください。
- ④ ミキシングノズルは使用直前に装着してください。
- ⑤ 最初の使用やノズル交換時には、最初の約20～30cc程度(トリガー2、3回分)必ず捨ててください。  
(捨てる量が少ないと混合不良による、強度低下の原因になります。)
- ⑥ 丸棒などの凹凸のない棒鋼は使用しないで下さい。
- ⑦ 吐出樹脂量はカートリッジラベルの目盛りを目安にしてください。
- ⑧ 所定の硬化時間内はアンカー筋を動かしたり、荷重をかけたりしないで下さい。

### 4. 3 取り扱いに関する注意事項

- ① 樹脂が皮膚に付着すると、まれに炎症を起こす事があります。すみやかに拭き取り、温石鹼水で洗い流す等の処置を行ってください。  
また、万一樹脂が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、医師の処置を受けてください。
- ② 高温になると、カートリッジの内容物の中に急激に分解するものがありますので、高温物、火気には絶対に近づけないでください。

### 4. 4 廃棄上の注意事項

- ① 使用後のミキシングノズルおよび空容器は、廃棄プラスチックとして廃棄してください。
- ② 内容物は、河川等の環境中に廃棄、流出させないでください。
- ③ 内容物の破棄は、主剤・硬化剤を混合し、硬化させてから廃棄プラスチックとして廃棄してください。
- ④ カートリッジの内容物を取り出さないでください。